

る徳川昭武とくがわあきたけといつしよに、遠くフランスのパリの万国博覧会ばんこくはくらんかいに招待しょうたいされる一人にえらばれました。

結婚したばかりのリンは、夫が京都や外国に行つて留守がちであつたので、結婚するとすぐ家庭にしばらくつけられたそのころの嫁よめとちがつて、わりあい自由な時間をもつことができました。だから、実家に病氣の父を見舞つたり、自分のことも自由に考えたりすることができたのです。

城門のうちそとで夫と別れたリンは、会津高田にのがれていきました。敵が攻めてくるといので、辞世じせいの歌をよみ、なぎなたをとつて、戦う用意をしたこともありました。敵は横にそれて行つたので戦わないですみました。会津若松の方から、大砲たいほうの音や鉄砲てつぱうの音が、毎日聞こえました。会津高田は戦いもなく静かでした。一カ月後、お城が敵の手に落ちて、はげしい戦いは終わりました。